

FURUNOの
環境・社会
貢献活動



次世代認定マーク「くるみん」を取得

フルノは「次世代育成支援対策推進法」に基づき、仕事と子育ての両立や、多様な働き方ができる職場環境を整備しています。この度、2010年4月1日～2015年3月31日を計画期間として策定した目標を達成したことにより、厚生労働省より「子育てサポート企業」として認定され、「くるみん」マークを取得しました。今後も引き続き、従業員が働きやすい環境づくりに取り組みます。



	2012年度	2013年度	2014年度
育児休暇取得者数	12名 (うち男性1名)	12名 (うち男性0名)	21名 (うち男性3名)
育児休業復職率	100%	90%	100%
育児短時間勤務	2名	4名	5名



より詳しい情報はこちら ▶▶▶ <http://www.furuno.co.jp/corporate/activities/nextgprt.html>

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 毎年5月開催
 基準日

定時株主総会 毎年2月末日
 期末配当金 毎年2月末日
 中間配当金 毎年8月31日

その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告 (<http://www.furuno.co.jp>)

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元株式数 100株
 上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理人
 みずほ信託銀行株式会社

同 連 絡 先
 (お 問 い 合 わ せ 先)
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-288-324
 (ご利用時間：土・日・休日を除く9:00～17:00)

お 取 扱 窓 口
 お取引の証券会社
 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)

特別口座管理機関お取扱店
 未 払 配 当 金 の お 支 払
 みずほ証券およびみずほ信託銀行
 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほ証券では取次のみとなります)



表紙絵画：須磨はじめ
 マリンギアライター。自ら描く
 著書の挿絵から水彩画の世界
 へ。プレジャーボートを素材に
 した作品が多い。



見やすいユニバーサル
 デザインフォントを採用
 しています。

古野電気株式会社
<http://www.furuno.com>



「朝日を浴びて」(米国：モントーク)

公正な企業経営を徹底し
成長市場の開拓と販売拡大に尽力します

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国、欧州全体で個人消費が改善し、緩やかに景気回復が進みました。反面、アジア経済は、中国の成長率が減速するとともに、輸出依存度の高い他の国々でも景気が減速しました。わが国経済も、企業収益は改善したものの輸出が振るわず、個人消費も横ばいが続くなど、景気回復に足跡が見られました。

こうした状況の中、当社グループの関連する市場においては、商船市場で新船建造の需要が好調に推移するとともに、プレジャーボート市場でも小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。

市場の好環境に加えて円安の追い風も受け、当社グループでは成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組みました。それにより、船用事業では商船、漁業、プレジャーボート市場向けの売上がいずれも増加しました。また、産業用事業も生化学自動分析装置の販売が好調で、医療機器の売上が増加しました。これらの結果、売上高は457億7千4百万円、経常利益は22億3千6百万円と、いずれも前年同期を上回りました。一方、防衛省に対する過大請求額等の納付額と前連結会計年度に引当計上した額との差額を特別損失に計上したことなどにより、

代表取締役社長
古野幸男



四半期純利益は14億4千9百万円となりました。

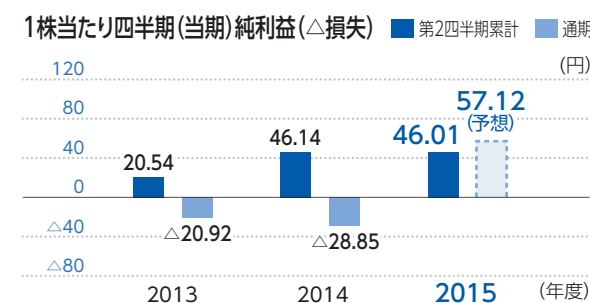
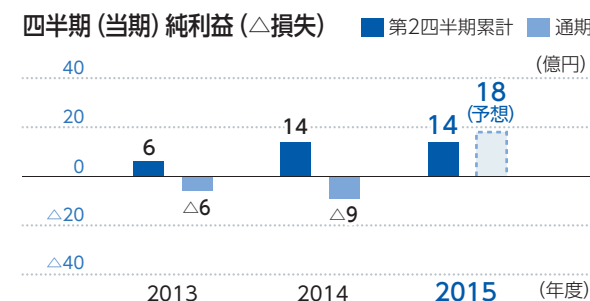
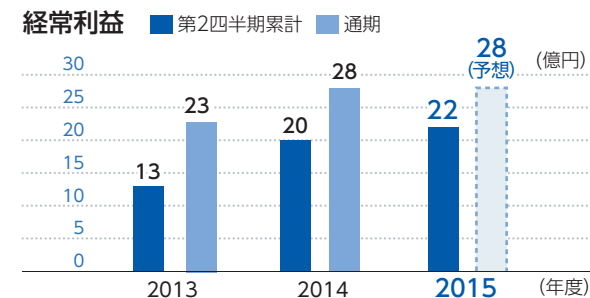
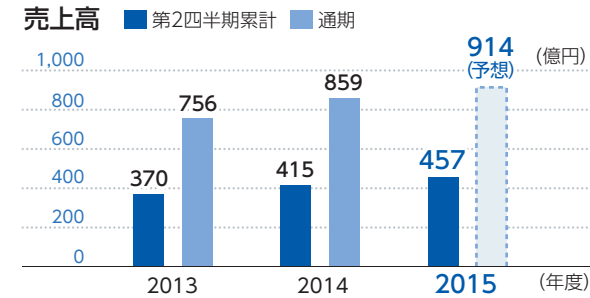
当社は、2014年3月25日、航空・防衛事業部において、防衛省との契約に際して費用の過大請求を行った案件があることを社内調査により確認し、同省へ報告いたしました。続く3月27日付で内部調査委員会を立ち上げ、事実関係の把握と原因究明を行った上で再発防止策を策定し、同年9月24日付で同省に報告いたしました。その後、2015年8月26日付で当案件に関する返納金を納付いたしました。株主の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことは誠に申し訳なく、改めて深くお詫び申し上げます。今後二度とこのような問題を起こすことのないよう、全社を挙げて再発防止と信頼回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年11月

配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり4円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり4円とし、年間配当金は1株当たり8円を予定しております。



四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2014年3月1日から 2014年8月31日まで	当第2四半期 2015年3月1日から 2015年8月31日まで
売上高	41,510	45,774
売上原価	27,786	30,475
売上総利益	13,723	15,298
販売費及び一般管理費	12,252	13,348
営業利益	1,471	1,949
経常利益	2,018	2,236
税金等調整前四半期純利益	1,942	1,796
四半期純利益	1,454	1,449

四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科目	前期末 2015年2月28日現在	当第2四半期末 2015年8月31日現在
流動資産	63,610	63,126
固定資産	20,185	19,894
資産合計	83,795	83,020
流動負債	34,678	33,116
固定負債	11,811	11,742
負債合計	46,490	44,859
純資産合計	37,305	38,160
負債及び純資産合計	83,795	83,020

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2014年3月1日から 2014年8月31日まで	当第2四半期 2015年3月1日から 2015年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,262	△511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,290	△1,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,069	3,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,351	10,800

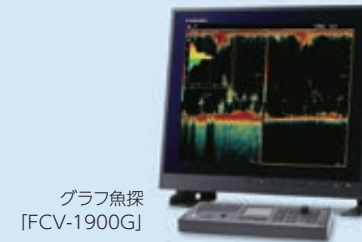
*連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

船用事業

売上高 384億円

主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器



- 商船市場向けの売上が、国内やアジアを中心に全ての地域で増加しました。
- 漁業市場向けの売上も、堅調に推移しました。
- プレジャーボート市場向けも、中心となる北米および欧州における景気回復や為替の円安効果などもあり、売上が増加しました。

産業用事業

売上高 58億円

主な製品

- 医療機器
- GPS機器
- ETC車載器



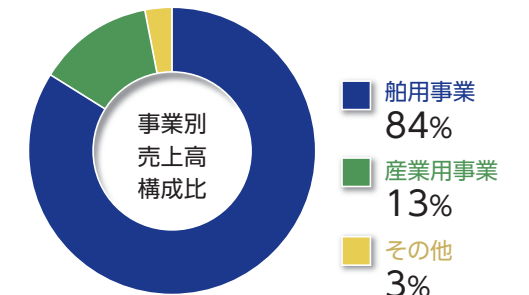
- 医療機器は、生化学自動分析装置の販売が好調で、売上が増加しました。
- GPS機器は、周波数発生装置が低調で、前年同期に比べ売上は減少しました。
- ETC車載器も、売上が伸び悩みました。
- 防衛省向けの売上も低調でした。

その他

売上高 14億円

主な製品

- 無線LAN機器
- 無線ハンディターミナル



FURUNO+ 製品紹介+ 13

狩猟用発信器 (GPS マーカー)

電波法に適合した国内唯一の位置・音声一体型端末で、猟犬の位置と音声を把握

野生動物による農作物への被害は年々深刻化しており、狩猟による捕獲など、適切な対策が求められています。野生動物を捕獲する際、狩猟者が猟犬の位置や音声を把握するのに役立つのが狩猟用発信器 (GPS マーカー)。従来、位置情報と音声情報は別個の機種で把握されていたうえ、狩猟向け位置測位専用機には日本の電波法に合致した製品がありませんでした。フルノのGPS マーカーは位置情報と音声情報が一体となった国内初の電波法適合製品であり、猟犬の位置をGPS 測位するとともに、猟犬端末の内蔵マイクを通じた音声を同時に確認できます。



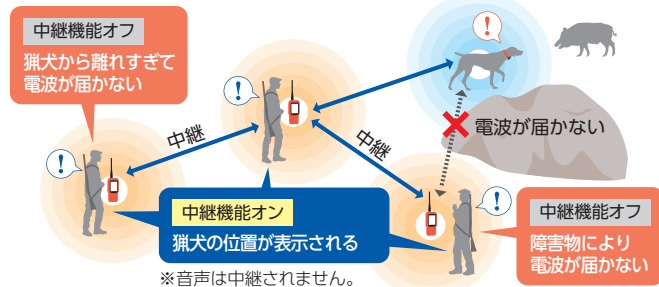
猟犬端末 型式 [DG-01]

狩猟者端末 型式 [HT-01]

狩猟用発信器 (GPS マーカー) Dog Navi™ Ver.2

2015年9月に発売を開始した新機種。左記の中継機能に加え、高性能な40cmのアンテナを標準装備し、通信範囲を拡大させました。また、10m間隔で等高線を表記した全国2万5,000分の1の詳細地図を内蔵し、見やすさも向上しています。

Dog Navi™ Ver.2の新機能：中継機能



狩猟者と猟犬の距離が離れすぎたり、障害物によって電波が届かない場合でも、他の狩猟者端末に電波を中継させることで猟犬の位置を取得することができます。

巨大な北米市場で 躍進を続けるフルノU.S.A.

レジャー産業が盛んで、一家に一艇、プレジャーボートを保有する地域もあると言われる北米。この世界最大のプレジャーボート市場で確固たる地位を築き、順調に成長を続けているフルノU.S.A.について、現地の社長がご紹介します。



フルノU.S.A. President and CFO
Brad Reents



フルノU.S.A.の概要

- 本社所在地：米国ワシントン州カマス市
- 設立：1978年9月
- 従業員数：88名(2015年9月30日現在)

フルノU.S.A.は米国の西海岸にある本社と、東海岸にあるデントン事務所の2拠点をベースに、米国、カナダ、カリブ海と中南米の一部のお客様へサポートを行っています。



フルノU.S.A. (本社)



アメリカ合衆国



デントン事務所

市場の開拓とともに 数年間で驚異的な成長を達成

フルノU.S.A. (通称：FUSA) は、米国の販売・サービス子会社として、1978年に設立されました。設立当初は売上高も比較的 low、販売先も漁業市場がメインでしたが、多くの新製品の導入に伴い新たな市場の開拓に成功し、数年間で驚異的な成長を遂げました。広大な北米市場をカバーするため、販売・サービスは主に約350社の代理店網を通じて行い、FUSAでは購買、物流、販売、マーケティング、サービス、技術サポートといった多彩な機能を担っています。

製品のテストを行う従業員。



市場競争が激しい中でも 他社に差をつけるマーケティング力

タンカーやクルーズ船などの大型商船から小型のプレジャーボートまで、FUSAの担当市場は多岐にわたります。中でも北米は世界最大のプレジャーボート市場であることから、FUSAの売上の大部分も、プレジャー向けの製品が占めます。一方で、この市場は非常に競争が激しい市場で



日米の従業員の議論の様子。FUSAのお客様専用サイトや代理店などを通して集めたお客様のニーズは、このような国をまたいだ議論により、新製品開発に活かされます。

もありますが、FUSAは独自のマーケティングにより優れたサービス・サポートを提供することで、他社との差別化を図っています。お客様のニーズにお応えするため、スタッフは日本の本社と密にコミュニケーションを取り、常に新製品開発のアイデアを伝えるように努力しています。

積み上げた信頼と実績で さらなる成長へ

40年近くにわたり、FUSAは高品質な製品ときめ細かなサービスを提供し、着実に信頼と実績を積み上げてきました。全米船用電子機器協会(NMEA)の最優秀メーカー賞を創業時から毎年受賞し続けていることが、その何よりの証と言えるでしょう。お客様から高い評価を獲得している漁業市場やプレジャーボート市場に加え、近年は商船市場でもその実績が認められつつあります。

また、FUSAでは従業員の育成に大きな力を注いでおり、業界でも才能のある優秀な人材が揃っていると自負しています。従業員の勤続年数は長く、フルノブランドへの愛着を持って仕事をしています。今後もフルノグループの一員であることを誇りに、業界で最高のサービスを提供し続けていきたいと思えます。

NMEAの受賞プレートの前で。NMEAからの連続受賞や、米国沿岸警備隊への数百艇におよぶ納入実績などが、米国はもちろん、世界でのブランド力向上につながっています。



日本の「だし文化」を支える 漁業の効率化に貢献

ユネスコの無形文化遺産に登録された和食。その要である“かつお節”や“かつおだし”をつくるのに適したカツオが、近年、不足しつつあることをご存知でしょうか。カツオの安定供給を、ひいては日本の食文化を守るために進められている漁業の効率化に、フルノの製品が役立っています。



まき網漁業の新時代を切り開くモデル漁船として、水産庁の「もうかる漁業創設支援事業」で誕生した「第十八松友丸」。同船と「第八十八光洋丸」には、フルノの最新型のソナー「FSV-28WL」などが搭載されています。

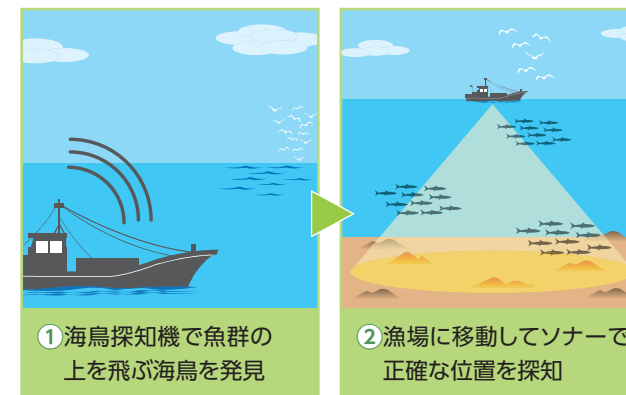
世界的な人気の高まりとともに 良質なカツオの入手が困難に

これまでカツオは日本以外ではあまり食されず、漁獲量も安定していました。しかし、ツナ缶人気を背景に世界的にカツオの需要が高まり、主な漁場である太平洋では国際競争が激しくなっています。かつお節の原料となるカツオは「まき網漁業」という方法で獲られますが、カツオ資源を保護するため、日本は漁船のサイズを800t以下に自主規制しています。一方、中国などは大型の漁船で、稚魚や小型のカツオまで根こそぎ捕獲しているという報道もあります。その結果、かつお節の原料に適した中・大型のカツオが手に入りにくくなり、日本のだし文化に危機が訪れているのです。

安定供給の鍵は、操業効率の向上

太平洋における操業環境が厳しさを増す中、良質なカツオが獲れる新たな漁場として、インド洋が注目されています。ただ、インド洋は気象や海象が複雑なことから、資源状況は良好なもの、漁獲量は安定していません。そこで、安定的な漁場を確保するために、船の“目”の役割を果たすソナーや海鳥探知機が活躍します。これらの

機器による魚群の的確な探知は、漁獲量の向上はもちろん、魚群を探す時間が短くなることから、燃料費の削減などにもつながります。このような操業効率の向上は、太平洋での競争に生き残るうえでも大きな意味を持ちます。



まず、海鳥探知機で海鳥の居場所を捉え、漁場の目安をつけた後、ソナーで魚群の正確な位置をつきとめます。海鳥探知機で探知できるエリアは最大36kmにもおよびます。

担当者の声

新船計画が始動した当初、「第十八松友丸」の前船は燃料費削減のため、数ヶ月に一度日本に帰港する転載操業を実施されていました。仕様の協議は短い入港期間に限られ、十分な説明が困難でしたが、漁労長は全幅の信頼を寄せて、当社へ仕様の策定を託してくださいました。今はその信頼にお応えし、大漁に報いたい一心です。

焼津営業所
森本 峻平



2つの周波を同時に操り、 見逃しの少ない魚群の探知を実現

今までにない規模・能力で操業効率を飛躍的に高めた「第十八松友丸」と「第八十八光洋丸」。この2隻にはフルノのさまざまな航海機器が搭載されていますが、中でも漁業関係者の注目を集めているのが最新型のソナー「FSV-28WL」です。「FSV-28WL」の最大の特長は、高周波による近距離探知と、低周波による遠距離探知を同時に行えること。高周波はカツオ一尾の姿まで鮮明に映し出し、低周波は3~5km先の魚種まで判別できるので、投網作業をしながらエサとなるイワシを探ることができます。



「第八十八光洋丸」に搭載された最新鋭の航海機器。上段の左から2つ目(低周波)と3つ目(高周波)が「FSV-28WL」。

「第八十八光洋丸」は、国内では5隻目の760t型のまき網漁船です。建造にあたってお客様は効率を重視し、絶対に760t型でないとダメだという強い思いを持たれていました。私たちもその思いを共有し、「FSV-28WL」ほか新型機種を提案し、操舵室の機器を一括して装備していただきました。これらの機器は現在、実操業においてその威力を十分に発揮しています。

フルノ関西販売株式会社 関西支店
鈴野 寛



シンガポール子会社の社名を「フルノ・シンガポール」に変更

2015年4月、シンガポール子会社であるRICO社の社名を、「フルノ・シンガポール」へ変更しました。RICO社は1970年の設立以来、シンガポールをはじめとする東南アジアで、船用電子機器・部品の販売とアフターサービスを提供しており、2010年に当社グループの一員となりました。今回の社名変更には、昨年9月の完全子会社化を受け、同社が当社グループの一員であることをお客様へ広くお伝えし、企業ブランド価値を高める狙いがあります。同社は今後、従来の販売・アフターサービス機能に加え、海洋資源開発に関わるSIエンジニアリング事業を東南アジアから韓国・中国・日本などへ展開する主力拠点としての役割を担う予定です。



フルノ・シンガポールの社屋外観

「Swing Jazz Cruise 2015 in 神戸ハーバーランド」に軽音楽部が出演

9月26日(土)と27日(日)の2日間にわたり開催された音楽イベント「Swing Jazz Cruise 2015 in 神戸ハーバーランド」に協賛し、当社の軽音楽部が出演しました。「大学生の手で、ジャズを、神戸を盛り上げる!」をモットーに毎年夏に開催される「Swing Jazz Cruise」は、期間中に1万人以上が来場する一大イベントです。8回目を迎える今回は、神戸ハーバーランド内に設けられた7会場で、大学生や社会人のほか、ゲストとしてプロバンドの演奏などが行われました。当社の軽音楽部も実行委員会からの要請に応じて出演し、ボーカル曲を含む全7曲を演奏しました。



当日の演奏の様子

古野電気軽音楽部(愛称:K-on)について 1968年に創部。活動休止期間を経て、2000年からビッグバンドスタイルに変更して活動を再開。「音楽を通して地域に貢献する」ことを掲げ、社内外のイベントや高齢者施設での慰問演奏などを行っています。

株式の概況/会社の概況

■ 株式の状況 (2015年8月31日現在)

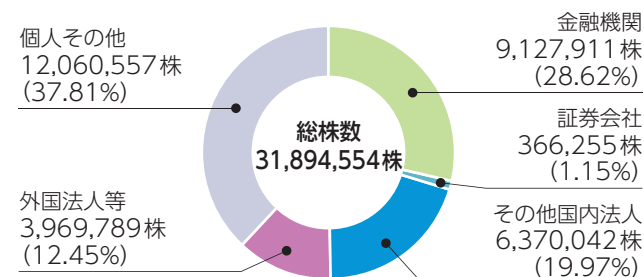
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
自己株式	382,291株
株主数	5,230名

■ 大株主の状況 (2015年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,386	13.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,522	4.83
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
古野電気取引先持株会	944	3.00
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	781	2.48
エコー興産有限公司	560	1.78
HSBC-FUND SERVICES, SPARX ASSET MANAGEMENT CO LTD	415	1.32
古野清賢	405	1.29

※持株比率は、自己株式382,291株を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況 (2015年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式382,291株(1.20%)を含んでおります。

■ 会社概要 (2015年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,908名(連結) 1,756名(個別)

■ 役員 (2015年8月31日現在)

代表取締役社長	古野幸男
専務取締役	森博行
常務取締役	小池宗之
常務取締役	井澤亮三
取締役	和田真豊
取締役	石原真次
取締役	矮松一磨
取締役	岡本達行
取締役	西森智靖
取締役	大矢智資
社外取締役	寺山孝男
常勤監査役	坂井讓
社外監査役	小美野廣行
社外監査役	村中徹

■ 配当金の推移

